



指扇中だより



～WE LOVE SASHIOGI!～

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

『薔薇色の人生』



校長 おおこうちのりかず 大河内 範一

ちょっと時間ができた時に行う「ボードゲーム」が面白い。私は、電子ゲーム系はあまり得意ではなかったもので、ゲームに関しては今でも「アナログ派」である。

お勧めのボードゲームはと言うと『スコットランドヤード』や『ラビリンス』もいいのだが、やはり『カタンの開拓者たち』が秀逸だ。ドイツ生まれのボードゲームで、名作中の名作と言われている。無人島（カタン島）を開拓し、産出した資源を使って街道や都市などを建設していく。頭脳を駆使して作戦を練ったり、他のプレイヤーと交渉したりしながら、ゲームが展開していくのである。興奮度・満足度ともに100点満点で、この『カタン』は、皆さんの人生の中で、ぜひ1度は体験してほしいボードゲームである。

人生と言えば、『人生ゲーム』でもよく遊んだ。就職や結婚など様々なライフイベントを経験しながら億万長者を目指していく、すごろく型のボードゲームである。この『人生ゲーム』シリーズを調べてみると、すでに60種類以上が発売されていて、豊富なバリエーションが存在しているとのことで、とても驚いた。

『スタンダード版』は、就職でスタートダッシュを掛けたり、着実にキャリアアップを積んだり、現実世界に近いものになっている。ゲームではルーレットによって人生の筋道が決まっていくのだが、実際の人生も偶然の出会いや成り行きから、その後の人生が左右されたり、一気に運気が上昇したりすることもある。また、『ジャンボドリーム版』では、宝くじの購入や橋を渡る収益金などで、大金を手に入れるチャンスがたくさん用意されているし、『大逆転版』では、「逆境からの一発逆転」というテーマのとおり、副業やリモートワークをしながら、人生の大逆転を目指していく。様々な人生がこのゲームに凝縮されているのである。

10年ほど前、アメリカの研究者が「小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就く」と予想していた。この予測がどこまで正しいかはわからないが、未来の予測が難しくなっていることは確かである。しかしそれは、困難な時代に突入していくのではなく、無限の可能性が秘められている前途洋々な世界が広がっているのだと私は解釈している。

夢と希望をもって空を見上げてみよう。そこには薔薇色の美しい雲が浮かんでいるはずだ。そして、これから進んでいく人生も必ずや薔薇色の光に照らされている。未来に向かって、楽しく、そして悠々と歩んで行ってほしい。

学校だより タイトルの秘密！

学校だよりを御愛読いただき、ありがとうございました。昨年度の学校だよりにも書きましたが、巻頭言（校長が担当する文章）のタイトルは、

- ① 色の名称が入っている。
- ② 歌謡曲など実際に存在している曲名。

という法則でネーミングしていました。【大河内】

4月号 『桜色ダイアリー』（妄想キャリブレーション / 2017）

5月号 『YELLOW YELLOW HAPPY』（ポケットビスケッツ / 1997）

6月号 『赤と黒のブルース』（鶴田浩二 / 1955）

7月号 『君のハートはマリンブルー』（杉山清貴&オメガトライブ / 1984）

8月号 『白い雲にのって』（乃木坂46 / 2012）

10月号 『色・ホワイトブレンド』（中山美穂 / 1986）

11月号 『銀色の夢』（森高千里 / 1997）

12月号 『緑の日々』（オフコース / 1984）

1月号 『ワインレッドの心』（安全地帯 / 1984）

2月号 『群青日和』（東京事変 / 2004）

3月号 『薔薇色の人生』（倉木麻衣 / 2019）